

平成 22 年 10 月度情報発信 No. 38

お世話になっております。皆様方ご健勝のこととお喜び申し上げます。平成 22 年 9 月初旬～平成 22 年 10 月末にわたる情報発信をお届け致します。酷暑の長い夏が終わったと感じた途端、すでに短いと思われる秋になっています。

日頃は、各社殿と情報発信、技術相談、研究指導を通じて、新鮮な問題に接することが出来る喜び、仕事からの刺激などありがたく思っています。体力的にはきつく感ずることもありますが、各社殿と一緒に考えることが、いいアイデアが浮かんでくるようです。

最近、日中関係が尖閣諸島での中国漁船の拿捕事件以来、おかしな関係になっています。中国の GDP が日本を抜いて世界第二位になることとも無関係ではなさそうです。新聞論調などを参考にすると、

- ⑩ 外交は弱腰であってはならない。弱腰を見透かされれば、国は侵食され、固有の領地を奪われるであろう。
- ⑪ しかし、世界経済がアジアを中心に発展している現状において、経済的観点の上では、中国と仲良くやっていくべきである。
のようである。菅首相のしっかりした舵取りを希望したい。

私的なことで恐縮ですが、私の趣味のことに少し触れます。
趣味を持つことは、人生を楽しむ上に大事であります。趣味は友人を増やし、また健康保持に役立ちます。これが、私の持論です。
この 2 ヶ月間のエピソードをご紹介します。

10) 私のゴルフに、この酷暑の 2 ヶ月間の間に異変が起きました。

スコアがこの数年間 100 前後であったのが、酷暑の最中、8 および 9 月、急に 90 前後に収斂し出しました。ゴルフをやり始めて、30 余年の間で、初めてハーフ 30 台が出ました。また、コースの 9 月度月例杯でグロス 90 で優勝しました。22 年振りです。

何が変わったかといえば、ゴルフのショットに、やれ飛んだとか、飛ばないとかと言うようなことに気を遣わなくなりました。パターとアプローチが大変良くなり、結果として、スコアが改善しました。しかし、10 月になって、また、2 度ほど 100 前後のスコアを叩きました。ティーショットの飛距離に色気を使ったせいです。いずれにしる、好スコアを夏の椿事に終わらせないように、人生における最後のチャンスとして、上達に努力を続けたいと考えています。

ゴルフのメリットは、研究畑で仕事をしている関係上、日頃は、文章を読んだり、実験データとにらめっこしたりで、日常、狭いところばかりを見えています。たまに、広々とした緑の野原に目を転ずることは、すべてのことから解放される喜びがあります。また、会社のコンペなどでは、日頃、雲の上の上司とも対等に話ができるよさも

ありました。

日経新聞の「私の履歴書」に大倉敬一氏（月桂冠相談役）が、父母、及びご自身の健康の秘訣はゴルフだと書いておられます（平成 22 年 10 月 30 日）。コースに出て、恥ずかしくない程度のゴルフをするために練習で身体を動かし、たまに、コースに出て目の保養、友人との交流を楽しむことは、健康に大変良いと同感です。

1 1) 外国語の勉強のこと

若いときから、仕事の必要性から英語を勉強し、最近では中国語学習に、この 4 年間力を注いできました。最近では、加齢のせい、本当に語学をマスターできるか疑問を持つようになりました。

去る 10 月 29 日（金）、毎週一度出席している夜の中国語教室に出席しました。中国人女性教師が通常の中国語の会話スピードで浜松における餃子サミット（平成 22 年 10 月 23 及び 24 日）のことを紹介してくれました。日本の餃子の拠点は、浜松市と宇都宮市（宇都宮餃子は、日経新聞の平成 22 年 10 月 30 日の何でもランキング、食べに行きたいご当地グルメで 6 位にランキングされています）であり、両都市とも数百件の餃子店が軒を競っているようです。浜松の餃子サミットでは、宇都宮を除いた愛知、三重、北海道などの参加があり、水餃子、焼き餃子、形も通常の大きさのものから饅頭くらいの大きい餃子、餃子の具と味の話など、中国語による話の内容が、最初、全然理解出来ませんでした。今の實力では、教科書で習ったことは理解できますが、自分のテリトリーの外にある話にはついていけないのです。

語学勉強は、少し自信を得ると、すぐ落胆に襲われます。自信と自信喪失のサイクルで、語学力が伸びるのでしょうか？ 言い換えれば、4 年くらいの勉強で、どんな内容の話にもついていけるようになるならば、外国語学習に誰も苦労しませんね？ 思えば、英語などは、中学生の時から今まで勉強しており、少々話せるのは当然だと思われる代償を払っているわけです。それに比べると、4 年間の中国語学習、しかも、一日数十分の学習で上達を期待するのは性急という事でしょう。

また、語学の上達のためには、その言葉が話される現地に行って、現地の言葉を使って、片言でも会話ができる楽しさを味わうことが、語学学習を続ける秘訣でしょう。私も、中国に出張する折は、上海で時間があれば、数時間でも上海外国語大学内の中国語コースに顔を出すようにしています。それで、正しい発音をマスターするようにしています。この中国語コースは、弊社のクライアント会社のある社長さんに紹介して頂きました。

活動報告

特記事項

- ① クライアント会社に研究報告（9/3）
- ② 腐食防食協会 関西支部主催見学講演会に出席（於日新製鋼(株)堺製造所、9/8）
- ③ クライアント会社と合同で、九州の会社で新製品のPR会（9/13）
- ④ クライアント会社で研究指導 電気化学測定技術の習得 第 3 回目（於北九州市、

9/14)

- ⑤ 大阪技術振興協会 打ち合わせに出席 (9/15)
- ⑥ 大阪市立大学工学部 3 回生 20 人対象に、環境材料学の集中講義 30 時間(9/16~9/24)
- ⑦ 大阪技術振興協会 技術士二次試験セミナー講師 (9/25)
- ⑧ クライアント会社で研究指導。リサイクル事業における防食技術(於堺市 9/28)
- ⑨ JICA 主催 プロセス工業におけるクリーナープロダクション(A)コースにおいて、1 日腐食防食の講義。アルゼンチン、ポリビア、チリ、コロンビア、エクアドルから 7 人参加。
- ⑩ 新製品打ち合わせ(於高槻、10/9)
- ⑪ クライアント会社で講演(於津山、10/14)
- ⑫ 大阪技術振興協会 理事会に出席(10/15)
- ⑬ クライアント会社で研究指導 電気化学測定技術の習得 第 3 回目(於北九州市、10/28)